

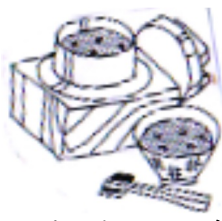
こぼれ話

団塊の世代からさらに年配の人たちの中で、カラオケで人気があるのは三橋美智也、春日八郎、さらには藤山一郎などと続く。そんな曲を愛するグループはある会合の後、にスナックに寄った。乾杯をして「いや、今日の昔話はよがった。ところで〇〇は生きてつかや」

「北海道さ行ったつう話があつとも、誰もわがんねえが」などと同級生の話でまた盛り上がった。そうこうしているうちに歌が始まった。Aはフランク永井の曲を歌った。ムードある歌いつぶりだ。Bはクールファイブの東京砂漠を歌った。だんだん熱を帯びてきた。「お前は何を歌うのや？」とCに矛先を向けた。Cは「三橋美智也」と答えながら石狩川エレジーを選曲した。情緒豊かな歌詞に皆が酔いしれた。店のマスターは激しく拍手した。みんなが驚いた。マスターがつぶやいた。「(いいな：歌詞が)」

わが家の一品

【めかぶの根の和え物】
 「材料」めかぶの根、ニンジン、根シヨウガ、白だし、つゆ、酒。



「つくり方」めかぶの根をごそつといただきます。通常であればひとつひとつ切り離してせん切りし、和え物を作ります。わが家では一枚を二
 等分、三等分した大きめに
 して食

路線バス

高齢者、被災者のバス路線(足)の確保は喫緊の課題
 病院通い、買い物に不便の改善を



震災後、地域交通確保維持改善事業(国交省)で仮設住宅に対応した路線バスが運行されてきた(宮古駅発↓新設路線9、既設路線4)。

国の補助額4500万円が今年度から700万円に激減

ところが今年度から仮設住宅の箇所数減少に伴い国の補助上限額が減額

震災前のレベルにダイヤを戻すと急激なサービスを低下を招くとして、路線の見直しと補助額増額を決めました。市の従来の補助額年3500万円のものを30年度は5500万円にします。

●路線バスと患者輸送バスとの連携による輸送体系を見直す。

●オンデマンド(予約制)バス導入の検討。

●高齢者、子供連れの方の足確保は切実な課題

●国が補助が激減し、市の補助額を増額してもなお住民の足確保は困難を抱えています。

●今一度、住民要望を把握したうえで路線改善やダイヤ改善を検討する。

そのためには行政内での連携による協議が必要で、これを避けては改善できません。

読者の文芸欄

●読み疲れ眼休める庭先に綿木紅く色(まなこ)きてあり

●冬の陽は弱しというも部屋の奥温めくれて仲々ももの働く人。

自注/ようやく「春」となつて一安心。野良で働く人、工事で

短歌 金沢邦臣(田鎖)

サケ・シンプ

今秋に記念講演、シンポジウム等多彩な企画に不漁の原因と打開策を探る



平成30年度予算で鮭不漁対策を求めるシンポジウム等の開催に260万円が議決されました。その企画、準備状況について水産課からの情報を紹介します。

●今秋に記念講演、シンポジウム開催へ

水産課によれば、今秋にサケの不漁と打開策を巡って記念講演とシンポジウムを企画しているとしています。

●市内の水産加工品の試食、販売も

また、市内水産加工業者がこの間開発してきた製品の試食や販売

も行うことも検討しています。

●サーモンランド・サケの街みやこを内外にアピール

宮古市は「サーモンランド宣言」をしている街で、当然市の魚はサケです。

この位置づけにふさわしく、不漁続きのサケ漁を中心とした打開策を関係する調査研究機関や専門家の英知を結集することが今ほど求められている時はありません。

●「サケの一生」もわかる企画を。合わせて宿泊客誘致に繋げる

児童生徒にも「鮭の一生」がわかるパネル展や、この行事で来宮する人が市内に宿泊できるよう夜の企画も必要だと思ひます。



「水量が増え、ながながい溪相になってくれば、春先とは違い引きが強くなつてす。大型連休が楽しみです」

大型連休まであと2週間余。闘いが始まるぞ!

「水量が増え、ながながい溪相になってくれば、春先とは違い引きが強くなつてす。大型連休が楽しみです」

大型連休まであと2週間余。闘いが始まるぞ!

4月も中旬となり、やっと春めいてきた。市内の公園の桜も咲き始めた。河川の水量も増え始め少し白濁し始めている。

西が丘の釣り吉は11日の平日、タイマガラに出かけた。午前9時到着。エサはミミズとイクラ。軟調竿6・3尺、マス針6号、脈釣り、蛍光糸2ヶ所に。タイマガラキャンプ場手前第1投。いきなり軽い当たりがきた。17秒のかわいいヤマメである。キャンプ場周辺で午後2時までで9尾の釣果である。

情報